

早稲田大学大学院 教育学研究科
修士課程 一般入試問題の訂正内容

<2019年度 一般・外国学生入試 専門科目>

【社会科教育専攻】

●問題冊子2ページ II-h (メディア・コミュニケーション学) 2行目

(誤)

ともに、02000年代以降の社会との違いについて論じなさい。

(正)

ともに、2000年代以降の社会との違いについて論じなさい。

以上

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。
出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ-A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ-B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ-A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ-B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ-C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ-D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ-E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ-F・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ-G・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ-H・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ-I・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ-K・問題Ⅳ
経済学研究指導	藁谷 友紀	問題Ⅲ-L・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ-M・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ-N・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	伊藤 守	問題Ⅲ-O・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	野中 章弘	問題Ⅲ-P・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ-A」・「Ⅲ-A」など）を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「5枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以上

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導 1)

高校の新科目「地理総合」の特徴と課題について述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導 2)

デモクラシーの維持という観点から、政府が政治教育機関を有することのメリットとデメリットについて述べなさい。

問題Ⅱ 社会科教育研究指導の志願者は、次の a~h から 1 問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 日本史における通史と個人史との関係について、具体的な人物を事例に論じなさい。

Ⅱ-b (東洋史) 遊牧民が「世界史」に与えた影響について論じなさい。

Ⅱ-c (西洋史) 高校世界史で学ぶべき歴史用語の数についてはさまざまな議論がある。扱うべき歴史用語数の削減のメリット・デメリットについて、具体的な西洋史の歴史事象の例に触れつつ論じなさい。

Ⅱ-d (地理学) 公共施設の立地をめぐる NIMBY 問題について、具体的事例を挙げつつ、問題の構造や現実的な解決方法について述べなさい。

Ⅱ-e (政治学) 中央政府に対する地方政府の自治に関する問題につき、例を挙げながら論じなさい。

Ⅱ-f (経済学) ケインズの『雇用・利子及び貨幣の一般理論』がもたらした内容の新しさと与えた影響の大きさから、「ケインズ革命」という言葉が用いられる。その「革命」の意味について説明しなさい。

Ⅱ-g (社会学) 現代日本における階級・階層と文化と教育の関係について、「階級」、「階層」、「文化」とは何であるのかを説明したうえで、具体的な事例を挙げて論述しなさい。

Ⅱ-h (メディア・コミュニケーション学) 1990年代まで精力的に展開された「消費社会論」の内容を述べるとともに、02000年代以降の社会との違いについて論じなさい。

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A~P を選んで答えなさい。

Ⅲ-A (歴史学研究指導 日本史 1)

次の史料を読んで、下記(1)~(3)の間に答えなさい。

世上嗷々事、定以令聞及給歟、閭巷之説、雖不可有御信受、如此人口先々不空歟、時政在京、旁依穩便思食、於他武士者、縦雖召下、於彼男者、勤仕洛中守護可宜之由、度々被仰遣之上、直被仰含畢、然而猶以下向之間、如此事等出来歟、義経・行家等在洛中之由風聞、事若実者、天譴已至歟、何不被尋出哉、或説、叡山衆徒之中、有同意之輩云々、中々如此披露、若為事実者、為朝家神妙事歟、日来雖被仰所々、無聞食出事、於今者被搜尋、有其便歟、但以無証拠、事構出者、適所殘之天台仏法摩滅之因縁歟、云彼云是、旁嘆思食者也、如此事出来ぬれハ、奉為君、無曲事のみ出来ハ、旁驚思食者也、去月廿日御消息使侍為頼一昨日到来、付其便、雖仰遣此旨、且有懈怠之疑、且為散不審、重所被仰也者、院宣如此、仍執達如件、

(文治二年)

五月六日

源二位殿

(藤原)

経房

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

- (1) 上記の史料をすべて平仮名で読み下しなさい。
(2) 上記の史料を現代日本語に訳しなさい（前後の文脈が分かるよう、適宜、言葉を補いながら意識すること）。
(3) 上記の史料が、誰が誰に対してその意思を伝えたものであるかを明確にした上で、この文書をやりとりした者同士が当時抱えていた政治課題、および当時の政治情勢について論じなさい。

Ⅲ-B（歴史学研究指導 日本史 2）

(a)か(b)、どちらか一つを選択して解答しなさい。解答用紙冒頭に選択した記号を付記すること。

(a) 次の史料は、天明5年(1785)2月に、米沢藩主上杉治憲(鷹山)から次期藩主上杉治広へ伝えられた藩主心得である。これを手がかりに、近世日本の大名について、論じなさい。

- 一 国家は先祖より子孫へ伝候国家にして、我私すへき物には無之候
- 一 人民は国家に属したる人民にして、我私すへき物には無之候
- 一 国家・人民の為に立たる君にて、君の為に立たる国家・人民には無之候

(b) 次の史料は、明治6年(1873)1月に発せられた太政官布告である。これを手がかりに、日本における近世から近代への転換について、論じなさい。

今般改暦ニ付、人日・上巳・端午・七夕・重陽ノ五節ヲ廢シ、神武天皇即位日・天長節ノ兩日ヲ以テ自今祝日ト被定候事

Ⅲ-C（歴史学研究指導 東洋史 1）

1913年、ラサにいた4人の日本人の名前を挙げ、それぞれの事績について簡単に述べなさい。

Ⅲ-D（歴史学研究指導 東洋史 2）

オスマン帝国の「デウシルメ」について、支配エリートの性格という観点から論じなさい。

Ⅲ-E（歴史学研究指導 西洋史 1）

中世ヨーロッパ都市の自治について、その内容を具体的に説明したのち、その歴史的意義について論じなさい。

Ⅲ-F（歴史学研究指導 西洋史 2）

次の選択肢から5つを選び、それぞれについて説明しなさい。各解答の前に、選択肢の番号を書くこと。

- ①想起と忘却 ②ロシア革命 ③バルト・ドイツ人 ④歴史家委員会 ⑤シュラフタ ⑥ポーランドの反ホロコースト法 ⑦ロシア・ナショナリズム ⑧ボスニア・ヘルツェゴヴィナ ⑨スウェーデン語系フィンランド人 ⑩两大戦間期東欧の権威主義体制

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科学教育専攻】

Ⅲ-G (地理学研究指導 自然地理)

(1) 右の図について詳しく説明しなさい。

※この図は、著作権の関係により掲載できません。

等速な隆起と海面変化との複合によって室戸岬周辺の
海岸段丘が形成されたことを示す模式図

(2) 以下の事項についてそれぞれ説明しなさい。

- ① 海溝型地震と浅い内陸の地震 ② 三内丸山遺跡と古環境
③ 巨大カルデラ噴火 ④ 最終氷期の瀬戸内海

Ⅲ-H (地理学研究指導 人文地理 1)

立地適正化計画について、その政策理念や施策の具体例を説明するとともに、この政策を日本の地方都市へ導入する際に起こりうる地理的な阻害要因を指摘しなさい。

Ⅲ-I (地理学研究指導 人文地理 2)

近年の日本の農業・農村地域について、「グローバル化」、「アグリビジネス」、「農業の多面的機能」、「中山間地域」、「昭和一桁世代」、「高齢化」の各語を用いて説明しなさい。

Ⅲ-K (政治学研究指導)

1990年代以降の日本における国会改革の流れを、近年のイギリスにおける議院改革の流れと比較しながら論じなさい。

Ⅲ-L (経済学研究指導 1)

技術革新における金融機関の役割について説明しなさい。

Ⅲ-M (経済学研究指導 2)

資本資産価格モデルについて説明し、現実に応用するときの留意点について論じなさい。

Ⅲ-N (社会学研究指導)

以下の2問からいずれかを選び、解答しなさい。

- (1) 現代都市におけるグローバリゼーションと地域の社会や文化の関係について、具体的な事例を挙げて論じなさい。
- (2) 現代の文化と社会について、脱呪術化 disenchantment と再呪術化 re-enchantment をキーワードとして、具体的な事例を挙げて論じなさい。

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科学教育専攻】

Ⅲ-O (メディア・コミュニケーション学研究指導 1)

グーグル (Google) が登場して以降、知・知識へのアプローチが変化したが、その変化の諸相を整理したうえで、グーグル (Google) の検索システムの長所と短所を論じなさい。

Ⅲ-P (メディア・コミュニケーション学研究指導 2)

報道の自由の観点から日本のメディアの問題点について、最近の事例を挙げて論じなさい。

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、次の a、b のうち 1 問を選んで答えなさい。

Ⅳ-a

地理学習と歴史学習との連携を図る意義とその課題について述べなさい。

Ⅳ-b

近年検討が進められている大学入試改革は、歴史教育ないし公民教育にどのような影響を与え、ひいては日本社会にいかなる変化をもたらす方向で作用すると考えられるか。理由とともに述べなさい。